

# ダム工学会「第2回水道ダム交流講演会」のご案内

## ★水道ダムの歴史と今後を考えるための無料イベント★

令和6年4月に水道整備・管理行政の主務が厚生労働省から国土交通省へ移管されましたが、ダム工学会ではこれを機に「ダム技術者、水道関係者、ダム愛好家及び一般市民の交流する場」として「水道ダム交流講演会」を企画し、第1回を「国内近代ダムの父」である吉村長策先生と縁の深い佐世保市において令和7年1月に開催しました。

今年度も同様の主旨において「第2回水道ダム交流講演会」を開催することとし、今年が「国内近代水道の父、中島銳治」先生の没後100年にあたることを考慮して、中島先生が創設と拡張に生涯を捧げられた東京都上水道主要施設の一つである村山貯水池に近い東村山駅前サンパルネにおいて12月16日火曜日の午後に開催いたします。また、同日午前（講演会の前）に、中島先生の指導された東京都水道局管理の村山上ダム、村山下ダムと山口ダムを見学し、耐震補強等の最新の取り組みを現地で学びたいと思います。

東京都水道局の協力の下に行う今回のイベントを通じて、水道ダムに関する歴史、課題、展望を広く社会に適切に伝えたいと考えており、ダム再生の手法・事例と中島先生の関連した近代ダムを振り返るとともに、「古いダムの補強・再生技術」をテーマにパネルディスカッションを行い、相互に語り合いたいと思っております。

何卒、お気楽にご参加いただけますようお願い申し上げます。

令和7年11月

一般社団法人 ダム工学会 活性化小委員会

〒110-0008 東京都台東区池之端2-9-7、池之端日殖ビル2F ダム技術センター内

ダム工学会 第2回水道ダム交流講演会

**開催日時**：令和7年12月16日（火） 13:10～17:00



**開催場所**：東村山駅前 サンパルネ 2階コンベンションホール

**参加方法（参加費無料）**： 会場参加またはweb参加（事前登録をお願いします）

**現地ダム見学会**： 山口ダム・村山上ダム・村山下ダム（無料バス 同日09:30～12:20）

**詳細案内及び申込み**：ダム工学会ホームページ、下記URLまたはQRコードからお申込みください。<https://forms.gle/n7ixziQC6B3Fe2Aw5>

**主 催**： 一般社団法人ダム工学会

**協 賛**： ダム工事総括管理技術者会、一般社団法人建設コンサルタント協会、

公益社団法人日本水道協会

# 第2回 水道ダム交流講演会（ダム工学会主催）

## ～近代水道の父 中島銳治博士没後百年記念～ テーマ：「古いダムの補強・再生技術」

開催日時：令和7年12月16日（火） 13:10～17:00

開催場所：東村山市サンパルネ2階コンベンションホール

西武新宿線東村山駅西口から徒歩1分

参加費：無料（会場参加またはweb参加）

★ご意見送付先：ダム工学会活性化小委員会 幹事宛て

メールアドレス：[suido-dam@ctie.co.jp](mailto:suido-dam@ctie.co.jp)



会場：サン  
パルネ2階  
会場無料 wifi：当日  
受付で SSID とパスワ  
ードをご確認ください。

### プログラム予定 開会 13:10～閉会 17:00 予定

#### 第1部 講演 ～近代水道の父 中島銳治博士没後百年記念～

13:10 開会の辞 ダム工学会

挨拶 東京都水道局建設部長 塩田 勉

挨拶及び講演①「今こそ問う、水道ダムの役割と価値向上」ダム工学会会長 角 哲也

講演②「中島博士の関わった水道ダムの歴史と現在」風土工学主宰 川崎 秀明

14:40～14:50 休憩

#### 第2部 パネルディスカッション テーマ「古いダムの補強・再生技術」

事例紹介1「村山・山口貯水池における耐震補強工事」、東京都水道局建設部 酒井富雄

事例紹介2「松江市千本ダムにおける耐震補強工事」、松江市上下水道局 福島隆宏

#### パネルディスカッション

◎パネリスト紹介： 酒井富雄、福島隆宏、奈須野恭伸（ダム工事総括管理技術者会会長）、角 哲也、川崎 秀明、☆MC（司会）：夜雀（ダム愛好家）

① 話題：補強実施の背景、注目技術事項（フィルダム、コンクリートダム）、今後の課題、魅力増大策・・・進行の流れで若干の変更もあり得ます

② 話題ごとの意見交換・・・web参加の方はChatからのご意見記入をお願いします

③ 総括

17:00 閉会の辞 ダム工学会

# 中島銳治先生に関するひとくち知識

安政5年に宮城県仙台市生まれの明治大正期の代表的な工学者兼土木技術者です。日本の近代上水道の父、近代衛生工学の父、東京の恩人などと呼ばれており、2025年は中島先生没後百年に当たります。

帝国大学工科大学教授（衛生工学）を25年間務めた一方、現場に生涯関わり続けた土木技師でもあり、東京市上水道・下水道の創設・改良をはじめ、全国200もの上水道・下水道事業に功績を残しています。

中島銳治博士の調査・設計・施工に関わった主な水道ダム



左写真の主なダムに見るよう、重厚な堤体、石積みや取水塔の景観、越流部や減勢池の水理設計などに合理的工夫が満ちています。

日本水道史（1927年発刊）には、博士は体躯雄偉、儀容整秀、眼光炯々であり、寡言沈黙の人であったと記されています。



中島銳治博士の年譜、ダム関係を整理	
1858.11.17	宮城県仙台市支倉通りで出生、1870- 藩校養賢堂在学、1874- 宮城外国语学校在学、1877- 大学予備門在学、1880.4 旧東京大学理学部土木工学科入学
1883.7	首席卒業と同時に同学部助教授に任官、1886.2 結婚(田口医学博士の娘、仲子)
1886.3	帝国大学工科大学助教授(改組)
1887.6-1890.11	文部省派遣によって欧米に3年間官費留学(衛生施設調査)
1891.3	内務省技師補に任官、1891.10に東京市の水道技師に任官
1896.9	帝国大学工科大学教授に就任、土木工学第4講座担任
1897.7	内務省技師の兼任(東京市嘱託技師)、1898.12 東京市技師長に任官
1899.3	工学博士、1899.12東京市水道創設工事の竣工(市会から5千円贈与)
1899-1906	内務省技師として秋田・藤倉ダム等数都市の上水道創設を指導
1906.10	東京市技師長を辞職、東京市会からの表彰
1907.4-1910.8	大韓帝国の顧問技師:釜山・聖知谷ダム等韓国各市の水道創設を指導
1911-1925	東京市顧問技師:東京の下水道整備を指導
1911-1914	小樽市顧問技師:奥沢ダムと上水道創設を指導
1913-1925	東京市顧問技師:村山上・村山下ダムと上水道拡張を指導
1914-1918	松江市顧問技師:千本ダムと上水道創設を指導
1916-1925	八幡製鉄所顧問技師:河内ダムと工業用水拡張を指導
1919-1925	長崎市顧問技師:小ヶ倉ダムと上水道拡張を指導
1921.2	帝国大学教授職を辞職、1921.12東京帝国大学名誉教授
1921-1924	全国各市の顧問嘱託として上水道と下水道の施設建設を指導
1925.1	土木学会の第12代会長
1925.2.17	逝去、享年68歳(数え年)

中島先生頌徳碑：下の写真  
村山上ダム左岸にある碑は高さ12尺(3.63m)、幅5尺(1.52m)の巨大石碑(箱根溶岩の根布川石)で、表題「表功明徳：功を表し徳を明かす」の下に東京の恩人たる大功績が記されています。



★ 当イベントに関するご意見ご感想をぜひともお寄せ下さい。

送付先：ダム工学会活性化小委員会 幹事宛て

メールアドレス：[suido-dam@ctie.co.jp](mailto:suido-dam@ctie.co.jp)

## ダム工学会へのご案内

### 1. 会の目的

本学会は、会員相互の交流と協力ならびに国内・国外の関連学協会および研究機構等との連携によってダム工学研究の向上発達と研究成果の社会へのすみやかな還元をはかることを目的としています。

### 2. 会員資格

正会員と学生会員の資格は次のとおりです。

正会員 ダム工学の研究ないし技術に关心を持つ者

シニア会員 ダム工学の研究ないし技術に关心を持つ 60 歳以上の者

学生会員 ダム工学の研究ないし技術に关心を持つ学生

### 3. 会費

会費は次のとおりです。（入会金なし）

正会員 年額 6,000 円

シニア会員 10 年分前納の割引あり

学生会員 特別割引あり

※ 30 歳未満の新規入会の方に限り初年度会費無料

### 4. 入会申込先

入会申込書の送付および お問い合わせは、下記あてにお願い致します。

〒110-0008 東京都台東区池之端 2-9-7

池之端日殖ビル 2F (一般財団法人ダム技術センター内)

一般社団法人ダム工学会 事務局

電話 03-5815-4161 FAX 03-5815-4162

E-Mail [dam\\_eng@jdec.or.jp](mailto:dam_eng@jdec.or.jp)

★ 詳細はダム工学会ホームページをご覧下さい。

[一般社団法人ダム工学会【入会案内】](#)